

水土里ネットの和

発行：水土里ネット和歌山（和歌山県土連） 和歌山市雑賀屋町 1 番地

会長：二階俊博 TEL：073-432-2567 FAX：073-433-1490



第 28 回全国棚田（千枚田）サミット 現地見学会場「小坂の棚田」（那智勝浦町）

主な内容（CONTENTS）

○ご挨拶（真砂副会長）	2
○平成 5 年度第 1 回幹事会及び理事会	3
○全国農業農村整備の集い	4
○令和 6 年度予算に向けた国への提案活動	5
○進藤、宮崎両参議院議員が県内各地で意見交換	6
○近畿水土里ネット連合協議会の提案	7
○多面的機能支払交付金研修会	7
○ため池サポートセンター研修会	8
編集後記	

ご挨拶



水土里ネット和歌山
和歌山県土地改良事業団体連合会
副会長 真砂 充敏

昨今、朝夕次第に過ごしやすくなってまいりましたが、会員の皆様方におかれましては、健やかに過ごしてはいかがでしょうか。また、日頃の施設管理等にもご尽力いただいていることと存じます。

去る6月2日、梅雨前線が西日本に停滞し記録的な大雨となりました。県内では、被害箇所が農地・農業用施設あわせて約3,700箇所、被害額にして約90億円の報告がされています。現在、早期の復旧に向けて災害査定を受けているところですが、今後迅速な復旧に努めなければなりません。またこの豪雨では18箇所のため池の被害が確認され、改めて老朽化したため池整備の重要性を再認識したところであります。

6月15日には、農業農村の集いにあわせて和歌山県土地改良事業団体連合会として、令和6年度の予算に向けた提案活動を行いました。二階会長との面会では、6月の豪雨の状況を説明し国からの財政支援などをお願いし、その後、農林水産省農村振興局、財務省主計局において農業農村整備事業に関する予算確保の要望を行いました。

また、令和2年12月に閣議決定された第5次男女共同参画基本計画において、土地改良区等の理事に占める女性の割合の向上や、女性理事が登用されていない組織の女性登用ゼロからの脱却に向けた取り組みを一層推進することとなっております。当会におきましても3月26日に開催しました第65回通常総会において、新たに女性理事をお迎えすることが出来ました。今後もこの基本計画の趣旨を踏まえ会員および土地改良区の皆様に女性理事の登用を引き続きお願いしていきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

和歌山県では、災害復旧事業をはじめ、農業用ため池の防災減災対策、老朽化した土地改良施設の長寿命化対策、果樹園の畑地かんがい、ほ場整備、スマート農業の推進など、さまざまな取り組むべき課題があります。国、県とともに、このような課題に積極的に取り組んでまいりますので、会員の皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。

第 1 回監事会及び理事会を開催

7月20日（木）13時30分からアバローム紀の国において、西岡代表監事、横地監事、平野監事の3名が出席し、第1回監事会が開催されました。

今回は、

- ①「令和5年度監査計画について」
- ②「理事との契約についてこの会の代表に関する事項について」
- ③「令和4年度業務・会計・財産の決算（監査）について」
- ④「令和5年度会計収支補正予算の承認について」

の4議事が提案され、すべて承認いただきました。

令和4年度の決算は、昨年度に引き続き会員皆様からの受託事業が充実したことにより、連合会の業務運営を安定化することができました。引き続き、会員の皆様のご協力をお願いします。

監事会に続き翌日の7月21日（金）、10時30分から同じくアバローム紀の国において第1回理事会が開催され、議案はすべて可決されました。

鶴保会長代行をはじめ、中山、真砂、両副会長を含め13名の理事及び、3名の監事の出席を賜りました。来賓として出席された県農業農村整備課の箕澤課長からは、令和5年度の土地改良予算の状況に関する情報提供と、6月2日に発生した台風2号による豪雨により発生した農地・農業用施設の被害の状況について説明を受けました。

日高町、有田川町、湯浅町、橋本市、紀の川市、かつらぎ町で被害が多く、県内で被害は、農地2437箇所、農業用施設合計で1321箇所にのぼることが報告されました。

最後に、秋に予定されている「農業農村整備の集い」及び「第45回全国土地改良大会 福井大会」の予定を紹介しました。



全国農業農村整備の集いに参加

6月15日(木)に東京のシェンバツハ砂防において、令和6年度当初予算確保に向けた、平成5年度第1回「農業農村整備の集い」が開催され、全国から1000人を超える出席者と多数の国会議員や農林水産省からの来賓も出席し盛況に行われました。本県からも30名が参加しました。



最初に主催者の二階会長から、「今後、来年度予算に向けた各種調整が始まるが、農家の皆さん方の期待に応えられる予算の確保に一致団結して取り組む。また、男女共同参画の取り組みを本格化させ、目標達成に集中的に取り組むことをお願いしたい。『闘う土地改良』は限りなく続く、さらなる闘いを続けるようお願いしたい。」という挨拶がありました。

また、来賓の勝俣孝明農林水産副大臣をはじめ西村経済産業大臣、高市早苗経済安全保障担当大臣、森山裕衆議院議員、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問ほか多くの国会議員の方々から応援の祝辞がありました。



その後、土地改良予算の確保、土地改良事業の観点を盛り込んだ食料・農業・農村基本法の見直しを

目指すこと、大規模災害からの復旧・復興、国土強靱化対策等を引き続き推進するなど11項目の国への要請文が採択されました。

続いて全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎参議院議員から国政の情勢報告があり、最後に、福井県土連理事・福井県女性の会の竹内会長のガンバロウ三唱で閉会となりました。

令和6年度予算に向けた国への提案活動を実施

6月15日(木)の「農業農村整備の集い」終了後、「県土連」、「ため池保全整備連絡協議会」、「国営農地防災事業推進協議会」合同で、農林水産省、財務省、関係国会議員に提案活動を行いました。

今回は、

- ① 農業農村整備事業の予算枠確保
- ② 農地防災事業等国営事業の推進と早期着手
- ③ 電気料金を低減するための支援の継続
- ④ ため池の洪水吐の整備を定額補助の対象とされたい
- ⑤ 多面的機能支払い交付金制度の予算確保

を重点に提案・要望を行いました。

「集い」終了後、参加者は自民党本部に移動し二階会長と面会。提案内容の説明の後、6月2日台風2号の被災状況の説明など意見交換を行いました。その後、ため池協議会会長の日裏印南町長と県、土連関係者の合計8名で農林水産省本省に移動し、提案を行いました。本省では青山農村振興局長、農村振興局安部次長、青山整備部長とそれぞれ面会し、持参した提案内容の説明を行いました。

翌日16日は県選出及び関係の国会議員と農林水産省関係課室長、財務省に対し、要望書を提出しました。

今後も、機会を捉えて和歌山県の土地改良に必要な施策を提案・要望してまいります。



二階会長と面会



青山農村振興局長と面会

進藤・宮崎両参議院議員が来県し各地で意見交換

6月2日(金)、梅雨前線が西日本に停滞し、前線に向かって台風第2号周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が非常に不安定となり、記録的な大雨となりました。和歌山県で初めて、北部に線状降水帯が発生し降水が長時間持続し、この影響により日最大1時間降水量が湯浅で83.5mm、日降水量が湯浅で385.0mm、と観測史上1位を更新しました。県下の被害は、水路810箇所、ため池18箇所、頭首工19箇所、道路453箇所、合計3758箇所、被害額90億円にのぼります。

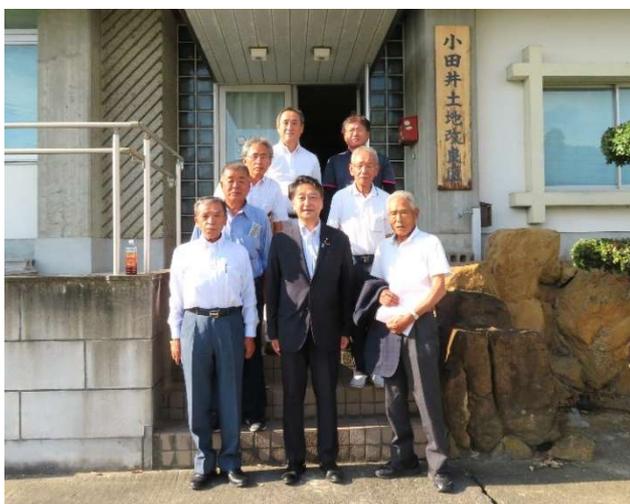


被災したため池（橋本市）

8月19日(土)、20日(日)に進藤議員、宮崎議員が来県しました。土地改良区の皆様から紀北地域、有田地域で被災状況の説明を受け、意見交換、現地調査を行いました。両議員からは地域の状況や要望・意見を国政に反映し、災害復旧が円滑に進むよう取り組んでいくという力強い言葉をいただきました。



有田川土地改良区での被災状況確認 宮崎議員



小田井土地改良区での被災状況の確認 進藤議員



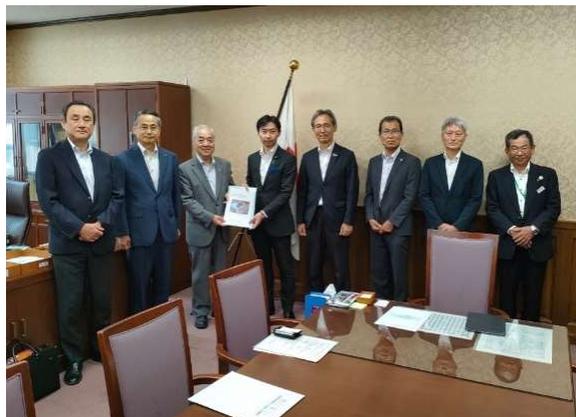
近畿水土里ネット連合協議会から国に提案

近畿管内の土地改良事業団体連合会が合同で、国と国会議員に対し農業農村の振興に関する提案を行いました。

今年度は、農業農村整備事業関係予算の確保など6項目について提案しました、

7月21日(金)には、近畿農政局で6府県土連の代表者が出席し、安東農政局長との面会の後、地方参事官以下関係各課の課長と意見交換を行いました。

7月25日(火)には、農林水産本省において同じく各府県土連代表者が出席し、宮本財務大臣政務官、農水省横山事務次官、長井農村振興局長、進藤参議院議員に続き農林水産省で意見交換を行いました。和歌山県からも、ため池整備など防災減災事業への要望などを行いました。



宮本財務大臣政務官と面会



横山事務次官と面会

令和5年度ため池サポートセンター研修会

「ため池サポートセンター」では、7月10日(月)広川町の南広小学校の4年生及び、ため池の管理者を対象に「ため池水難事故防止研修会」を開催しました。研修会には、一般社団法人水難学会の指導員を講師に迎え、ため池に落ちた場合の対処方法について指導を受けました。

- 1) ため池に落ちた場合は、『ういてまて』を守って助けを待つこと。
- 2) ペットボトルをおなかに抱えると楽に浮けること。
- 3) 落ち着いて携帯電話で連絡すること。 を学びました。



令和5年度多面的機能支払交付金研修会

9月4日(月)に海南市(海南 nobinos)、9月13日(水)に田辺市(情報交流センター ビッグ・ユー)において、多面的機能支払交付金の事務研修会を実施し、両会場で130名の参加がありました。

今年度の研修は、活動組織の役員経験が1,2年の書類作成が不安な方、今年度で活動期間を終え来年度も継続希望の組織の内、過去4年間の中で一度も研修受講が無かった組織の方を対象としました。

研修の内容は、開水路の補修方法と手順、刈払機の安全な操作方法についてDVDを鑑賞しました。さらに書類作成時の注意点を再度確認しました。



海南市(海南 nobinos 会場)

第201号の新たに会員になられた土地改良区の紹介に誤りがありましたので訂正いたします。申し訳ございませんでした。

・血深井土地改良区(R4.7.19入会)

受益面積 35.7ha 組合員数 157名(R5.6.1時点)

・引の池土地改良区(R5.4.13入会)

受益面積 36.4ha 組合員数 284名(R5.4.1時点)

【編集後記】



【表紙の写真】 那智勝浦町 小坂の棚田

11月18日(土)19日(日)、那智勝浦町において第28回全国棚田(千枚田)サミットが開催されます。写真は、現地見学の会場となる「小坂の棚田」です。

小坂の棚田はIターン者を含め組織された「棚田を守ろう会」が30年あまり耕作放棄された水田を復元しました。棚田を守ろう会は、田植えイベントをはじめとした都市住民との交流イベントを企画し棚田を維持していくことの重要性を訴えながら定住促進活動にも積極的に取り組んでいます。

